

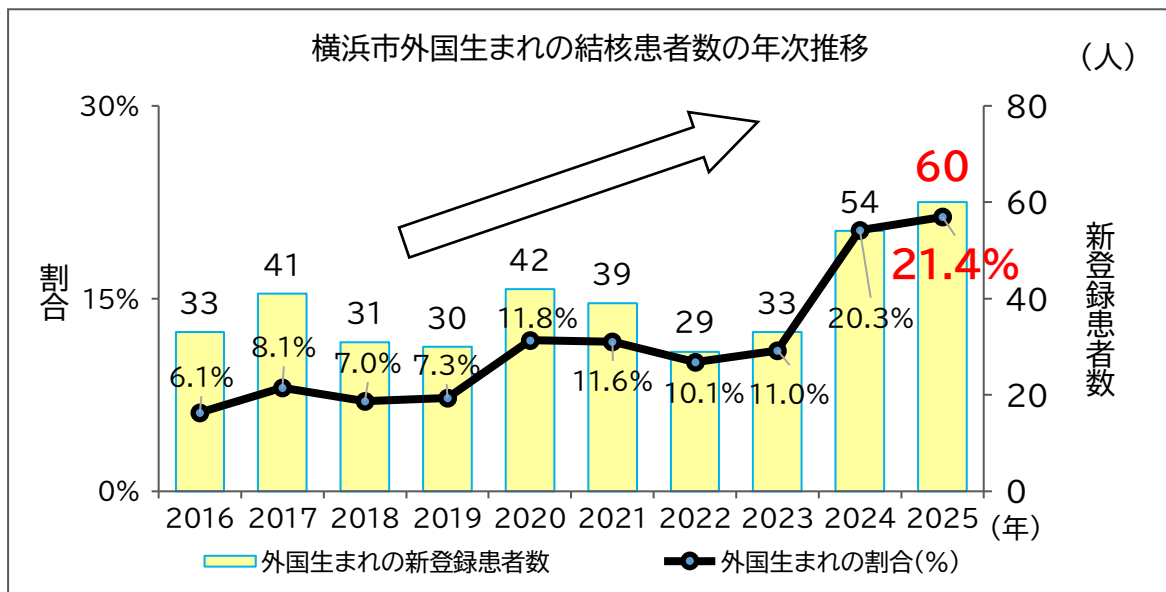
横浜市結核通信

発行 2026年9月
担当 横浜市医療局健康安全課
健康危機管理係 結核担当
電話 045(671)2729

横浜市では、外国生まれの結核患者が増えています

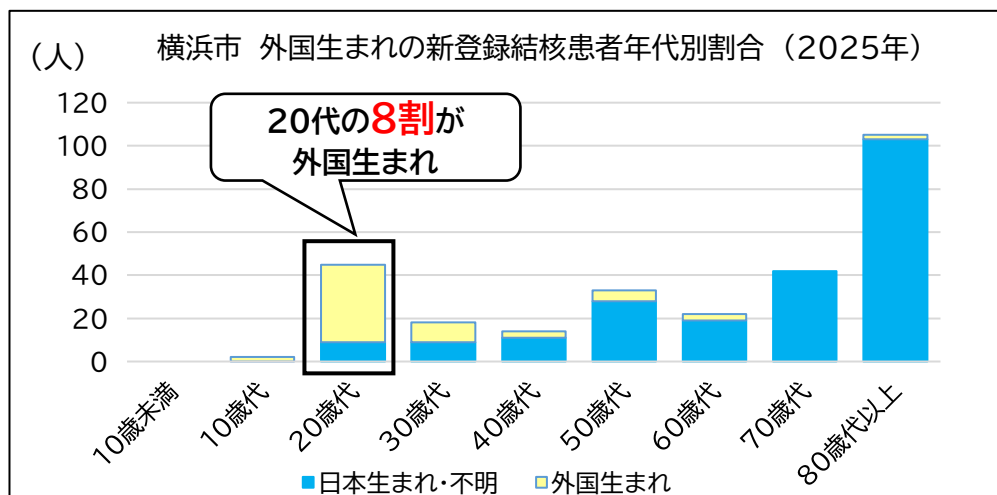
近年、全国と同様に横浜市でも外国生まれの結核患者が増加しています。

2025年に、横浜市で新たに登録された外国生まれの結核患者は**60人**と、全体の**2割**を超えています。



横浜市の新登録結核患者のうち、20代は8割が外国生まれでした

横浜市において、2025年1月1日～12月31日に新たに登録された結核患者数は**281人**、結核罹患率(※1)は、**7.5**でした。また、20代では8割が外国生まれであり、若年層での増加がみられました。今後も、結核高まん延国からの在留外国人の増加に伴い、外国生まれの結核患者の増加が予想されます。



※1 罹患率: 1年間の新登録結核患者数を人口10万対で表したもの



結核ってどんな病気？

主に結核菌によって引き起こされる感染症です。

肺に炎症が起こる肺結核が一般的ですが、全身の臓器に感染します。

感染してもすべての人が発病するわけではなく、健康であれば免疫の働きによって抑え込めます。



感染 結核菌が体内に入り、免疫力によって抑え込まれ、休眠している状態。症状はなく、人にうつす心配はありません。

発病 身体の中の結核菌が増殖し、肺など身体の一部に炎症を起こし、発熱や咳・痰といった症状が出た状態。人にうつす可能性があります。

排菌 痰の中に結核菌が含まれており、菌が体外に排出されている状態。ほかの人にうつす可能性が高いため、入院が必要です。



こんなときは結核かも？

- ・2週間以上続く **咳・微熱・だるさ**
- ・体重減少
- ・食欲不振
- ・寝汗 に注意

医療機関を受診しよう！



どう治療するの？

結核を発病したら、複数の薬を6か月から9か月間 **毎日きちんと飲めば治ります。**

治療費用は申請することにより、一部 **公費負担を受けられます。** 結核の治療で心配なことがあれば、保健師が治療をサポートします。

外国生まれの結核患者の約 **6割** が入国 **5年** 以内に診断されています！
入国後も年に1回の健康診断が必要です！

結核の早期発見のために **胸部X線検査費用** を一部 **補助** します！



結核定期健康診断補助事業について

日本語教育機関の生徒に実施した結核定期健康診断に対して、費用負担の軽減があります。結核の早期発見のために、結核定期健康診断の実施は重要です。

- 補助内容：胸部X線検査の費用（精密検査は補助対象外）
- 制度の利用方法：申請書類を提出
- 申請書類提出先：所在地の区福祉保健センター福祉保健課 健康づくり係

*詳しくは、横浜市のホームページをご確認ください。

横浜市 結核定期健康診断補助事業 で検索

*結核についてより詳細な情報は、公益財団法人結核予防会ウェブサイトをご覧ください。多言語で説明されていますので、ご活用ください。

